



御回答ありがとうございます。
ございました。

平成22年国勢調査結果「速報」について (要計表による千葉県の人口と世帯)

平成23年2月9日
千葉県総合企画部統計課
電話043(223)2215

平成22年10月1日現在で実施した「平成22年国勢調査」(第19回目)の千葉県における人口と世帯数(速報)は次のとおりです。

人口は621万7,119人、世帯数は251万5,220世帯でした。

前回の平成17年国勢調査と比べて人口が16万0,657人、世帯が18万9,988世帯増加しました。

この速報は、市区町村から提出された要計表(調査区ごとに人口や世帯数を取りまとめた一覧表)を県が集計したもので、総務省統計局の速報結果(2月25日公表)と異なる場合があります。

*確定値は、平成23年10月に総務省統計局から公表される予定です。

○人口 621万7,119人 * (605万6,462人)
[前回比 2.65%増:16万0,657人増]

○世帯数 251万5,220世帯 * (232万5,232世帯)
[前回比 8.17%増:18万9,988世帯増]

* () は前回平成17年10月1日調査結果

【参考】

調査年	人口(人)	対前回調査比(人)	増加率	世帯数(世帯)	対前回調査比(世帯)	増加率
22年	6,217,119	160,657増	2.65%	2,515,220	189,988増	8.17%
17年	6,056,462	130,177増	2.20%	2,325,232	151,920増	6.99%
12年	5,926,285	128,503増	2.22%	2,173,312	158,016増	7.84%

平成22年国勢調査 結果速報（千葉県）

（ 概 要 ）

平成23年2月

千葉県総合企画部統計課

1 県の人口と世帯数

(1) 人口

人口	6 2 1 万 7 , 1 1 9 人
前回平成 1 7 年比	1 6 万 0 , 6 5 7 人 増加 (増加率 2.65%)

○概要

平成 22 年 10 月 1 日現在の本県の人口は、6,217,119 人で、平成 17 年国勢調査（以下「前回調査」という。）の人口 6,056,462 人に比べ、160,657 人（2.65%）の増加となっている。

本県の人口は、大正 9 年の第 1 回国勢調査以降一貫して増加している。

人口の増加率は、昭和 45 年の 24.61%をピークに減少し、前回調査では 2.20%と調査実施以降最も低い伸び率となったが、今回調査の増加率は 2.65%で前回調査より 0.45 ポイント上昇した。

(2) 世帯数

世帯数	2 5 1 万 5 , 2 2 0 世帯
前回平成 1 7 年比	1 8 万 9 , 9 8 8 世帯 増加 (増加率 8.17%)

○概要

本県の世帯数は、2,515,220 世帯で、前回調査の 2,325,232 世帯に比べ、189,988 世帯（8.17%）増加しており、世帯数は人口と同様に調査実施以降一貫して増加している。

増加率は、人口と同様に昭和 45 年の 37.16%をピークに下降しているが、今回の増加率は、8.17%で前回調査の 6.99%に比べて 1.18 ポイント上昇した。

また、世帯数の増加率は昭和 25 年から人口の増加率を上回っており、平成 12 年からは人口の増加数より世帯の増加数が大きくなっている。

今回調査における 1 世帯あたりの人員は、2.47 人であり、前回調査の 2.60 人と比べ 0.13 人減少した。この傾向は、昭和 20 年の 5.32 人をピークに減少が続いている。

表 1 人口及び世帯数の推移

(各年 10 月 1 日現在)

年次	人口			世帯数			人口指数	人口性比	世帯人員	人口密度
	総数	対前回調査比		総数	対前回調査比					
		増加数	増加率		増加数	増加率				
大正 9 年	1,336,155	—	—	259,026	—	—	100	96.7	5.16	263.1
大正 14 年	1,399,257	63,102	4.72	270,796	11,770	4.54	105	97.6	5.17	275.5
昭和 5 年	1,470,121	70,864	5.06	279,746	8,950	3.31	110	98.5	5.26	289.5
昭和 10 年	1,546,394	76,273	5.19	292,254	12,508	4.47	116	97.8	5.29	305.5
昭和 15 年	1,588,425	42,031	2.72	302,116	9,862	3.37	119	95.6	5.26	313.8
昭和 20 年	1,966,862	378,437	23.82	369,982	67,866	22.46	147	85.8	5.32	388.5
昭和 25 年	2,139,037	172,175	8.75	407,609	37,627	10.17	160	94.1	5.25	425.1
昭和 30 年	2,205,060	66,023	3.09	423,617	16,008	3.93	165	95.0	5.21	438.0
昭和 35 年	2,306,010	100,950	4.58	483,634	60,017	14.17	173	95.9	4.77	458.0
昭和 40 年	2,701,770	395,760	17.16	637,164	153,530	31.75	202	98.9	4.24	535.0
昭和 45 年	3,366,624	664,854	24.61	873,929	236,765	37.16	252	101.4	3.85	662.9
昭和 50 年	4,149,147	782,523	23.24	1,152,380	278,451	31.86	311	102.0	3.60	811.2
昭和 55 年	4,735,424	586,277	14.13	1,418,917	266,537	23.13	354	101.3	3.34	920.8
昭和 60 年	5,148,163	412,739	8.72	1,572,575	153,658	10.83	385	101.1	3.27	999.6
平成 2 年	5,555,429	407,266	7.91	1,813,903	241,328	15.35	416	101.8	3.06	1,077.5
平成 7 年	5,797,782	242,353	4.36	2,015,296	201,393	11.10	434	101.7	2.88	1,124.5
平成 12 年	5,926,285	128,503	2.22	2,173,312	158,016	7.84	444	100.9	2.73	1,149.4
平成 17 年	6,056,462	130,177	2.20	2,325,232	151,920	6.99	453	100.1	2.60	1,174.5
平成 22 年	6,217,119	160,657	2.65	2,515,220	189,988	8.17	465	—	2.47	1,205.6

- ① この表は、平成 17 年までは国勢調査の確定値、22 年は速報値となっている。
ただし、昭和 20 年は 11 月 1 日現在の資源調査法による人口調査結果による。
- ② 人口指数は、大正 9 年を 100 としたもので算出。
- ③ 人口性比は女性 100 人に対する男性の数。
- ④ 人口密度は 1 K m² 当たりの数値。面積は H21. 10. 1 現在の 5, 156. 60K m² で算出。

図1 人口、世帯数及び世帯人員の推移

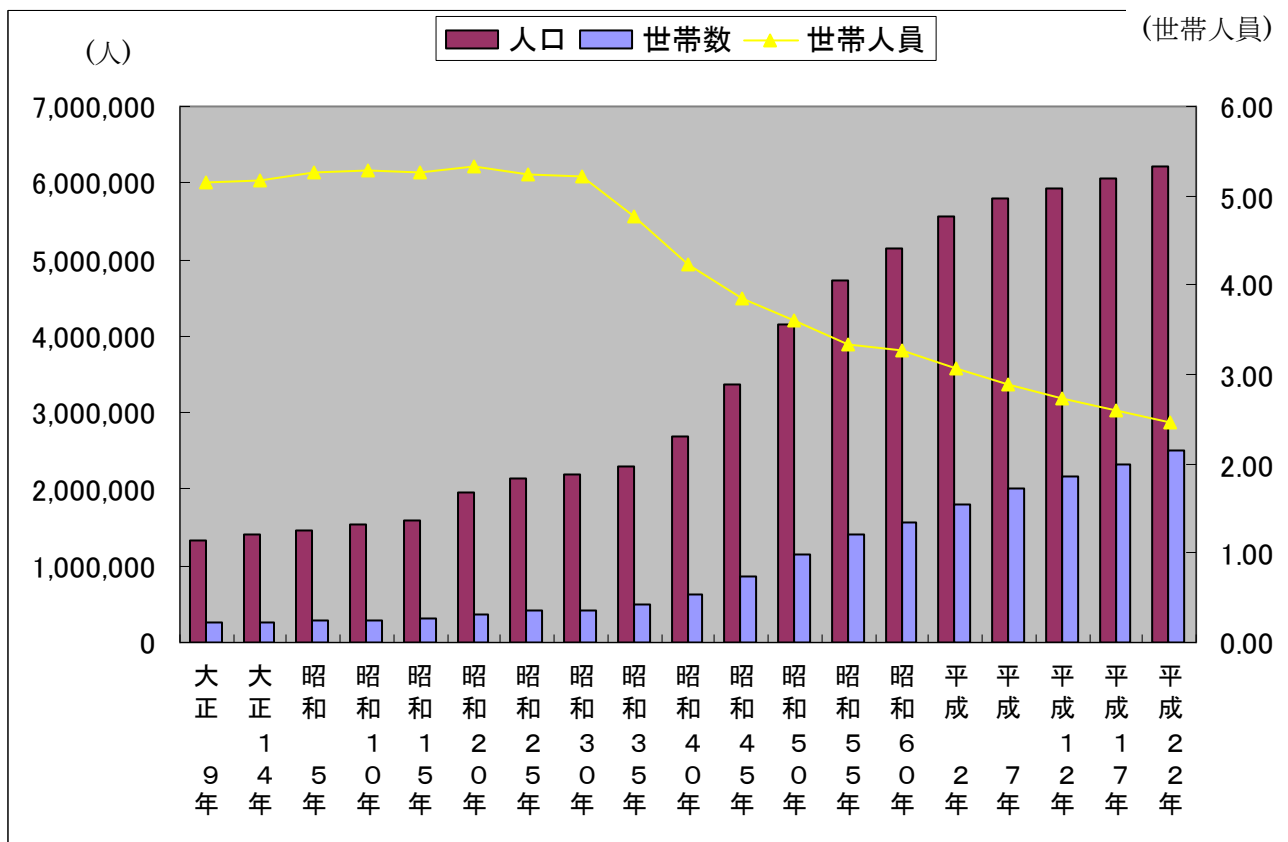
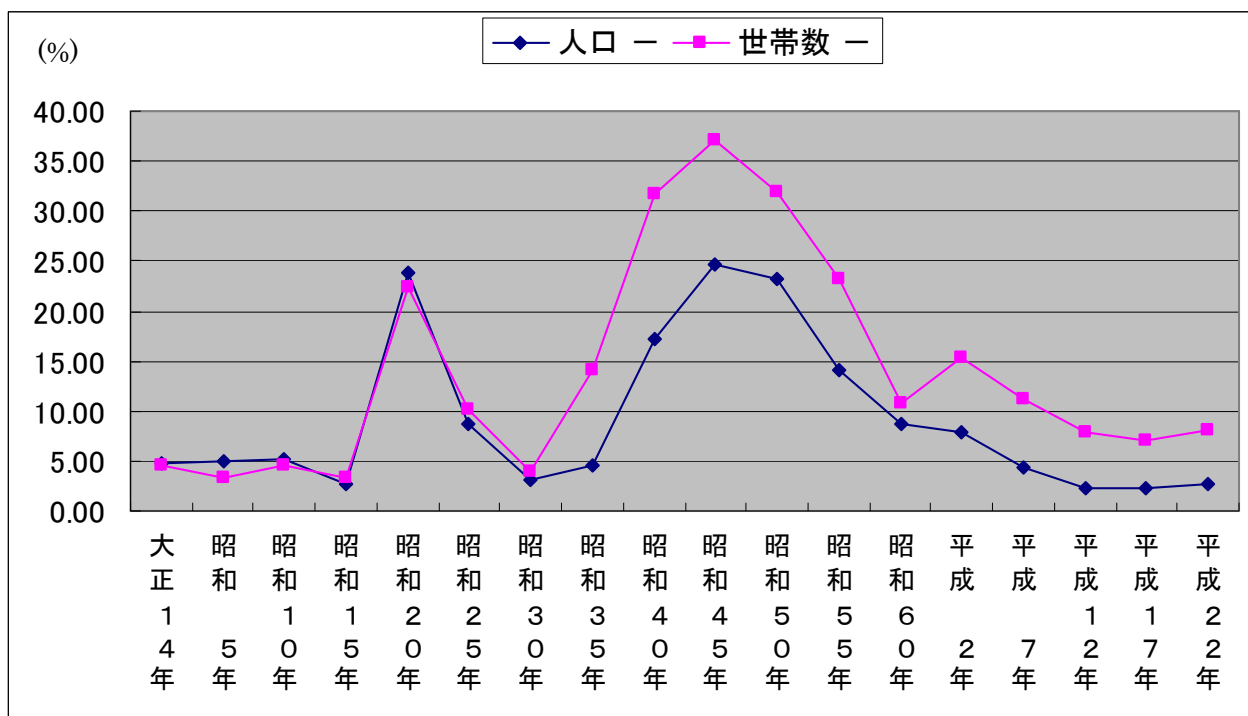


図2 人口及び世帯数の増減率の推移



2 市町村別人口

人口は23市町村で増加、31市町で減少

- 市部 人口：5,944,186人(+170,743人)、世帯：2,419,534世帯(+187,008世帯)
- 郡部 人口：272,933人(△10,086人)、世帯：95,686世帯(+2,980世帯)
 - ・ 増加数が最も大きい市町村は、船橋市(39,246人)
 - ・ 増加率が最も高い市町村は、白井市(13.86%)
 - ・ 減少数が最も大きい市町村は、銚子市(△4,795人)
 - ・ 減少率が最も高い市町村は、鋸南町(△8.44%)

(1) 市町村別人口の概要

人口の総数を市町村別に見ると、市部では、千葉市が962,130人と最も多く、次いで船橋市609,081人、松戸市484,639人、市川市474,926人、柏市404,079人の順になっており、これら5市を合わせた人口は、県の47.2%を占めている。

郡部では、大網白里町の50,122人が最も多く、次いで、横芝光町24,679人、栄町22,582人、酒々井町21,235人、九十九里町18,009人の順となっている。

市部、郡部別に人口を見ると、市部の人口は県人口の95.6%を占め、郡部は4.4%となっている。

(2) 人口の増減状況

人口の増減状況を市部、郡部別に見ると、前回調査に比べて市部では人口が170,743人増え、郡部では10,086人減少している。

市町村別に見ると、前回調査に比べて増加したところは、船橋市が39,246人と最も多く、次いで千葉市の37,811人で2市合わせると県全体の増加数160,657人の約半数(47.96%)を占め、次いで柏市23,116人、松戸市12,060人、流山市11,353人の順となっている。

また、人口が最も減少した市町村は、銚子市が△4,795人、次いで香取市△4,447人、山武市△2,938人、南房総市△2,650人、八街市△2,536人の順となっている。

人口増加率の状況を市町村別に見ると、白井市が13.86%と最も高く、次いで、印西市8.69%、流山市7.44%、船橋市6.89%、成田市6.44%の順となっている。

また、人口減少率が最も高い市町村は、鋸南町が△8.44%、長南町△7.63%、栄町△7.36%、大多喜町△7.27%、銚子市△6.39%の順となっている。

(3) 世帯の概要

世帯数が最も多い市町村は、市部では、千葉市が406,450世帯で最も多く、次いで、船橋市261,239世帯、市川市220,473世帯、松戸市209,542世帯、柏市162,301世帯の順となっている。

郡部で最も世帯数が多いのは、大網白里町の18,117世帯、次いで、酒々井町8,568世帯、横芝光町8,278世帯、栄町8,003世帯、九十九里町6,617世帯の順となっている。

また、世帯数が最も少ない市町村は、神崎町の2,136世帯、次いで、睦沢町2,399世帯、芝山町2,470世帯、長柄町2,651世帯、長南町2,818世帯の順となっている。

(4) 世帯の増減状況

世帯の増減状況を市町村別に見ると、前回調査と比べて世帯が最も増加した市町村は、千葉市の32,684世帯で、次いで、船橋市27,950世帯、柏市18,288世帯、松戸市16,580世帯、市川市12,305世帯の順となっている。

また、前回調査と比べて世帯が最も減少した市町村は、勝浦市の△121世帯で、次いで長南町△40世帯、鋸南町△37世帯、大多喜町△35世帯、匝瑳市△10世帯の順となっている。

世帯の増加率が最も高い市町村は、白井市の19.45%で、次いで、印西市14.89%、流山市12.72%、柏市12.70%、木更津市12.66%の順となっている。

また、減少率が最も高い市町村は、長南町の△1.40%で、次いで、勝浦市△1.30%、鋸南町△1.05%、大多喜町△0.96%、東庄町△0.13%の順となっている。

表2 人口増減数の大きい市町村

増加数の大きい市町村				減少数の大きい市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	船橋市	39,246	6.89	1	銚子市	△4,795	△6.39
2	千葉市	37,811	4.09	2	香取市	△4,447	△5.09
3	柏市	23,116	6.07	3	山武市	△2,938	△4.98
4	松戸市	12,060	2.55	4	南房総市	△2,650	△5.92
5	流山市	11,353	7.44	5	八街市	△2,536	△3.35
6	浦安市	9,588	6.17	6	匝瑳市	△2,260	△5.37
7	八千代市	9,060	5.01	7	富津市	△2,087	△4.16
8	市川市	8,318	1.78	8	君津市	△1,811	△1.99
9	成田市	7,805	6.44	9	栄町	△1,795	△7.36
10	白井市	7,348	13.86	10	旭市	△1,569	△2.22

※(参考) 千葉市中央区 14,811 人、千葉市緑区 9,112 人、千葉市稲毛区 8,126 人

表3 人口増減率の高い市町村

増加率の高い市町村				減少率の高い市町村			
順位	市町村名	増加数 (人)	増加率 (%)	順位	市町村名	減少数 (人)	減少率 (%)
1	白井市	7,348	13.86	1	鋸南町	△825	△8.44
2	印西市	7,044	8.69	2	長南町	△750	△7.63
3	流山市	11,353	7.44	3	栄町	△1,795	△7.36
4	船橋市	39,246	6.89	4	大多喜町	△837	△7.27
5	成田市	7,805	6.44	5	銚子市	△4,795	△6.39
6	浦安市	9,588	6.17	6	睦沢町	△497	△6.34
7	柏市	23,116	6.07	7	勝浦市	△1,401	△6.31
8	木更津市	7,057	5.77	8	東庄町	△1,005	△6.22
9	八千代市	9,060	5.01	9	長柄町	△524	△6.12
10	鎌ヶ谷市	5,021	4.88	10	南房総市	△2,650	△5.92

※(参考) 千葉市緑区 8.07%、千葉市中央区 8.02%

图3 市区町村別人口増減数

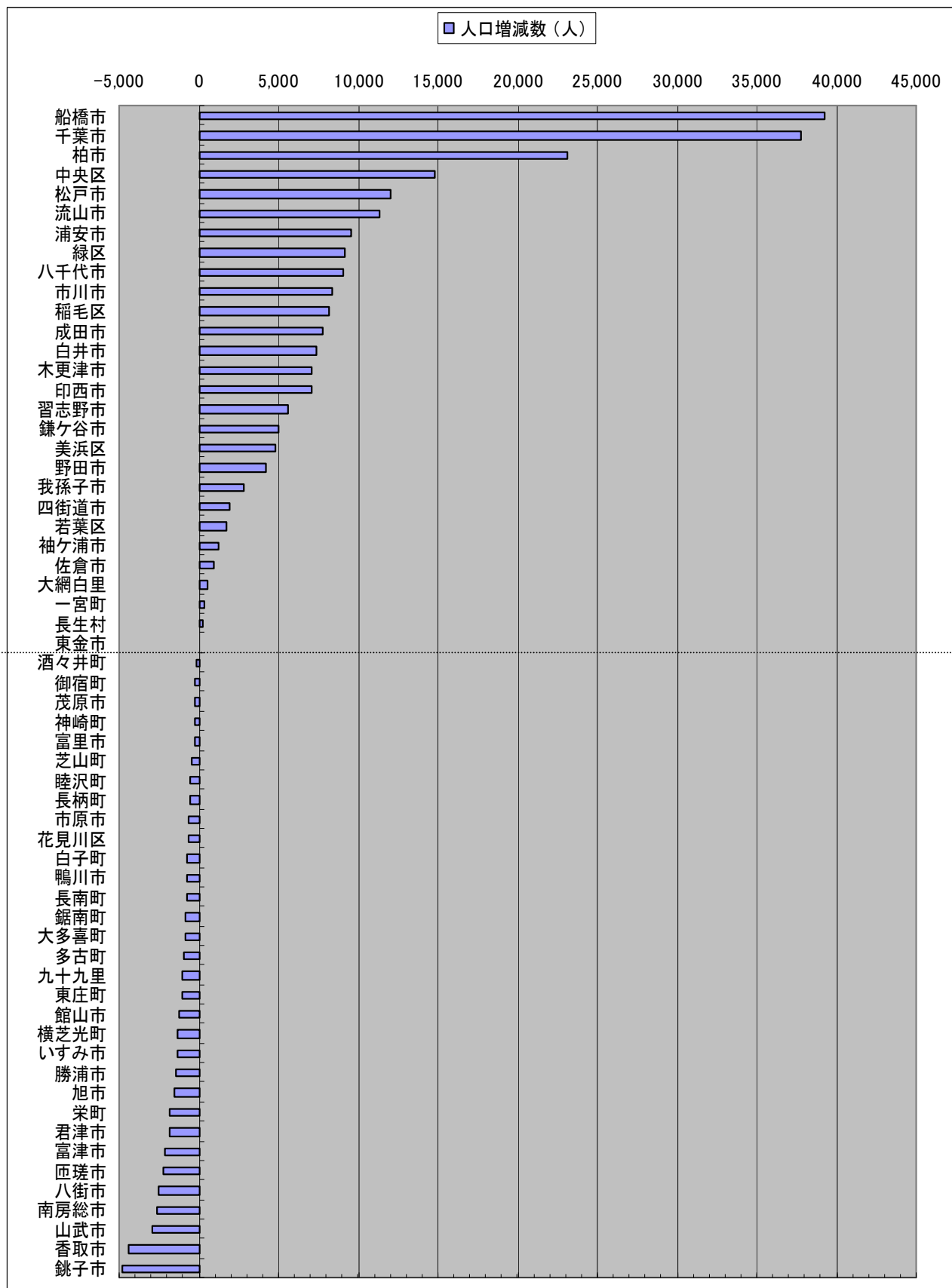


图4 市区町村別世帯増減数

